

1 【活動の趣旨】

校区を探検し、地域の人と関わりながら、自分たちのまちの自然や歴史について知ることで、ふるさとを愛する心を育てる。

2 【特徴的な活動内容】

○ 3年生の総合的な学習では、自分たちの住む地域にある寺社、お店などのすてきな所について調べた。地域を周る時には、テーマ別に子どもたちがコースに分かれて探検した。それぞれのグループに地域の方のガイドがつき、言葉や絵などが書かれた自作のフリップを使って分かりやすく説明をしてくださった。

○ 探検後に、学習したことを一人ひとりが絵と言葉で、カードに書き、「やぐらのすてき」としてまとめた。近くの神社やお寺、登下校中よく目に見えるお地蔵さんや道標などには、それぞれの由来があることが分かった。まとめたものは、地域の「ふれあいまつり」で紹介したり、地域の施設に展示したりしてたくさんの人に見てもらうことができた。



【ガイド・
保護者ボランティアと探検】



【瓢泉堂・道標の由来】

3 【実施に当たっての工夫】

事前学習として、ふるさと「矢倉」風景の記憶絵プロジェクトの方に、当日に周るコースの説明や矢倉の歴史に関するクイズなどをしていただき、学習への興味づけを行った。また、各コースに保護者ボランティアが付き添い、安全面にも気をつけて探検することができた。

4 【事業の成果】

課題別のコースを選んだことで、子どもたちは興味を持って探検し、たくさん質問することができた。ふだん何気なく目にしている所でも、それぞれの神社やお店の由来などを聞くことで、より地域に親しみを感じることができた。

また、学習したことをまとめたものを、まちづくりセンターやふれあいまつりに掲示したり、草津市の「子ども環境会議」に展示したりし、自分たちの地域以外の人たちにも広く発信できた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

6月の暑い時期なので、児童や高齢者にとっては熱中症対策を講じる必要がある。今回は児童がまとめたものを展示しただけだったので、それを見た地域の方からメッセージをいただくなど、双方向の交流にしていきたい。